

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名	越前市
所属名	長寿福祉課
担当者名	渋谷

※作成にあたっては、「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」P38～47を参考にしてください。

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
介護給付の適正化	○介護給付適正化主要事業に取り組み、保険給付費の適正化を図ってきた。 ○次の観点から介護給付の適正化の更なる推進が必要である。 ・介護保険給付が要介護状態の軽減または悪化の防止に資するように行われているか ・介護サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮されているか ・事業者による不適正・不正な介護サービスはないか	要介護認定の適正化	認定調査員研修の実施 認定調査状況チェック (点検数/調査数) (R6) (R7) (R8) 100% 100% 100%	認定調査員研修 開催日:①R7.12.1、②R7.12.5 参加者:28事業所83名参加 認定調査状況チェック 100%	◎	すべての調査員の参加をめざし、オンラインによる開催日を2日間設定し、後日動画配信も実施した。調査票確認内容変更について確認した。
		ケアプランの点検	ケアプラン点検 (点検事業所数/事業所数) (R6) (R7) (R8) 100% 100% 100% 介護支援専門員研修	ケアプラン点検 100% 運営指導時の実施と、個別実施により、全ての居宅介護支援事業所のケアプラン点検を実施した。2区分以上の悪化や改善が見られたケースなど、前年度の点検内容から拡充した。 介護支援専門員研修 3回実施 (7/18、12/19、2/17)	◎	介護支援専門員を対象とした専門研修を3回実施した。 特に年度末(2/17)に実施した研修では、ケアプラン点検で見えたよかった点と改善を要する点について報告、総評を行い、適切なケアマネジメントへの意識向上を図った。
		医療情報との突合・縦覧点検	医療情報との突合 (確認数/出力件数) (R6) (R7) (R8) 100% 100% 100% 縦覧点検 (点検数/帳票数) (R6) (R7) (R8) 100% 100% 100%	医療情報との突合 100% 縦覧点検 100%	◎	国保連合会の出力帳票を確認し、疑義がある場合は事業所に連絡・確認した。 継続して点検を行う。
自立支援、介護予防、重度化防止	○一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者が増加し、複雑で深刻な問題を抱える高齢者が増加している ○地域の実態を把握し、地域の関係機関や社会資源と連携した地域包括ケアシステムの推進が必要	介護予防の推進	通いの場での、フレイル予防の普及及び生活習慣病の見直しや改善	住民主体の通いの場(つどい)健康講話の実施 202回 運動講座の実施 199回	◎	つどいでフレイル予防や生活習慣病の見直しに関する講話や運動講座を必須としている。今後も継続予定。
		地域ケア会議の充実	自立支援型地域ケア個別会議の開催 (R6) (R7) (R8) 開催回数 6 6 6 ケース件数 12 12 12	自立支援型地域ケア個別会議を実施 開催回数 6回 ケース件数 12件	◎	件数は昨年度同様の件数で、目標達成。居宅介護支援専門員や地域支え合い推進員等、地域の関係機関の参加がみられた。今後も引き続き参加を広く呼び掛け、地域包括ケアシステムの推進に努める。